クラウドプログラミング演習最終レポート

17RS125　南原孝星

1. プログラムの概要

このプログラムはニフクラmobiebackendと連携した料理のカロリー早見表とそれを用いた一日のカロリー計算を行いカロリー量が適切であるかどうかをチェックすることができるプログラムである。

![グラフィカル ユーザー インターフェイス

自動的に生成された説明]()

図 プログラム全体の画面

1. 使い方

Fetch Allボタンで表の中すべての料理を参照することができる。

Nameボタンではname:の部分に検索したい料理名を入れNameボタンを押すと下の表に検索した料理が抽出され表示する事ができる。

Calorieボタンではcalorie:の部分にカロリーの数字を入力し「<Calorie」ボタンを押すとそのカロリー以下の料理、「Calorie」ボタンを押すとそのカロリーの料理、「Calorie>」ボタンを押すとそのカロリー以上の料理を下の表に表示することができる。

上記のボタンを使って表からカロリーを参照し、カロリー計算の部分に自分の食べた料理のカロリーを三食分入力する。その後Totalボタンを押すと三食分のカロリーが表示され、カロリー量に応じて文字列が表示される。

![グラフィカル ユーザー インターフェイス

自動的に生成された説明]()

図 　適正カロリーより少ない場合

![グラフィカル ユーザー インターフェイス

自動的に生成された説明]()

図 　適正カロリーの場合

![グラフィカル ユーザー インターフェイス

自動的に生成された説明]()

図 　適正カロリーより多い場合

1. 元にしたプログラム

mbaas\_search2020

1. 改良点

表の項目を増やしカロリー以外の細かな情報を参照できるようにした。

カロリーを入力し、その数値を元に検索してその数値より小さい料理、同じ数値の料理、大きい数字の料理を表に抽出できるようにした。

三食それぞれの変数を追加しその合計を計算する処理を追加した。

三食分のカロリーの合計値によって表示される文字列が変化する処理を追加した。

1. 演習の感想

今回の演習を通して変更した部分を確認できるコミットが開発するにおいて自分がどの操作を行ったかを一目で確認することができてとても重要であることを実際に開発している際に感じた。また、ニフクラbackendなどのバックエンド技術によってできることが増え便利なため、これからも勉強して開発する際に使用していきたい。4年になったら卒業研究などで大規模なプログラムを開発するため今回学んだパージョン管理システムを用いて効率的に作業していきたい。